

調査テーマ

戦後80年 テーマ『かがしま 信条(思想)と文学』

～日本は20世紀に何を求めたか～

かがしまゆかりの三人

戦後の日本人に何を残したか



●東郷茂徳
『時代の一面』



●美濃部 正
『大正っ子の太平洋戦記』

●朝河貫一
『日本の禍機』



鹿児島ゆかりの文学者と戦争

海音寺潮五郎
文化統制中に自立・自律性
～文学の粹～ 「文学建設」

里見弴
「西園寺公と政局」序文執筆
随筆「戦争とわたし」

向田邦子
戦争とエッセイ
「父の詫び状」他

椋鳩十 命・自然 児童文学
言論統制下に
軍神につづく横山少年団

林芙美子
戦時中 - 従軍作家
戦後 - 「うず潮」「浮雲」など
戦争で傷ついた人々を描く

司馬遼太郎
「何とくだらない戦争をしてきたのか」

同期間開催 北薩の美術・文芸
北郷家にみるかごしまの精神性・伝統美
北郷萌祥 アート

12月7日(日) 10:50～12:00

◎創作民話朗読会

「魚野越」 かがしま文芸研
鹿児島弁の朗読と音楽とのコラボ

◎講演会 「戦後80年とかごしま」

志学館大学教授 原口 泉 (県文化協会会長)

12月4日(木)～7日(日)

カクワックス交流センター
6階ギャラリー

10:00～17:00
(最終日は16:00)